

勝山中学校区 保小中合同引渡訓練

1 目的と経緯

- 実践的な場面を想定し、保小中合同の訓練を行うことで、より安全で確実な引き渡し方法について職員・保護者・児童・生徒一人ひとりが自分事として考える機会とする。
- 勝山中学校区の小中学校・保育所（勝山小・西浜小・富士豊茂小・勝山中・勝山保育所・足和田保育所・富士ヶ嶺保育所）において、同時に引渡訓練を行う。前年度に引き続いて今年で2回目となる。（保育所も同時に行うのは今回が初めて）

2 連携機関

富士山科学研究所 富士河口湖町教育センター 学校教育課
地域防災課 子育て支援課 勝山中学校区小中学校・保育所

3 内容

- 勝山中学校区において合同の引渡し訓練を行った。小中学校・保育所において同時に行うことで、実践的な訓練となった。当日は、富士山研、地域防災課、教育センター職員が学校での様子を観察・記録し、今後の検証に繋げた。また、防災アプリや行政無線による連絡を地域防災課で行った。
- 事前には富士山研が中心となり、学校、教育センター、地域防災課で検討し引き渡しマニュアルを作成した。デジタル行政無線については、学校教育課が使用方法についての確認を行った。また、災害時における報告表「小中学校→学校教育課・保育所→子育て支援課」の構築も行った。



4 成果と課題

- 確実に保護者に引き渡すことができ、手順も確認できた。
- 行政（学校教育課、地域防災課）への情報伝達を確認できた。
- 訓練に緊張感を持たせる工夫が必要である。
- 人数が少ない時の引渡し体制を想定しておく必要がある。